

K-RELEASE

企業局情報通信

K-RELEASE VOL.171

静岡県企業局

● 電話 054-221-2153

● F A X 054-251-5381

発行 平成30年8月27日

**9月2日
募集開始!****歩いて企業局の施設と地域の魅力を発見**

探検! 「富士川水管橋」ウォーキング

富士川水管橋や浄水場など、普段見ることのできない施設を探検しながらウォーキングを楽しめるイベントを開催します。水管橋や地中に埋まっている管路に沿って実際に歩くことで、工業用水道の施設を体感できます。

富士川水管橋を渡れるのはこの日だけ! ぜひご参加ください!**日時****平成30年10月6日(土)** 9:30~15:00 ※雨天、荒天の場合は中止

当日9:30に静岡県企業局東部事務所(富士市中之郷2100)に集合

定員

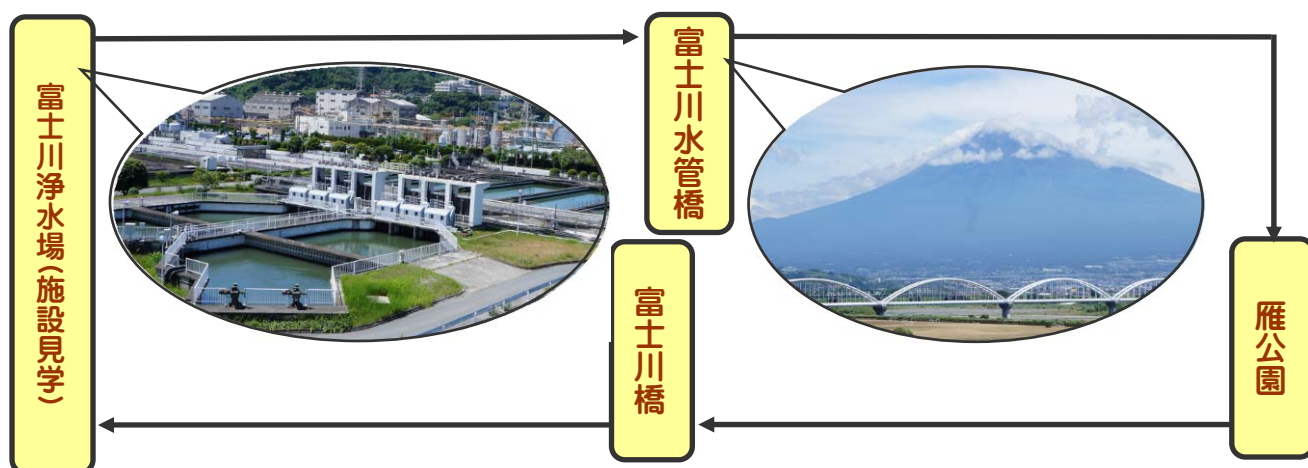
50名 事前申込制・先着順 定員になり次第、締め切らせていただきます。

参加費

一人100円(保険料相当額) 当日現金にて徴収させていただきます。

参加条件

- ・ 小学校4年生以上(小学生は保護者同伴の上ご参加ください。)
- ・ 水管橋は地上高17メートルです。高所が苦手な方の参加はご遠慮ください。

コース概要**全長約8km****申込方法**

郵便、FAX、Eメール(住所、氏名、年齢、電話番号をご記入ください。)

※Eメールでの申込みの場合は、必ず件名を「管路ウォーキング申込み」としてください。

※申込は、先着順となっておりますので、お早めにお申し込みください。

申込先

〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号

静岡県企業局 経営課 総務班

電話:054-221-2151 FAX:054-251-5381

Eメール:kigyou_keiei@pref.shizuoka.lg.jp

※詳しい内容、申込用紙はホームページを御覧ください。

静岡県企業局 管路ウォーキング

検索

CNF製品開発最前線 大昭和紙工産業株式会社

東駿河湾工業用水ユーザーの大昭和ファースト株式会社様のグループ本社、大昭和紙工産業株式会社様が、カラフルなセルローズナノファイバー（CNF）の開発に成功しました。

今回、大昭和ファースト株式会社（富士市比奈 274-9）を訪問し、大昭和紙工産業株式会社品質管理開発部の齋藤様、青柳様、大昭和ファースト株式会社上園代表取締役社長、鎌田常務取締役工場長から詳しいお話を伺いました。

一大昭和紙工産業グループはどんな会社か教えてください

ティッシュペーパー、トイレトペーパーなどの家庭紙から、ラベルや絆創膏の剥離紙、ファーストフード店などで使用する小袋から手提げ袋、米や化学製品を入れる重包装袋など、意外に身近なところで大昭和紙工産業株式の製品が使われています。様々な顧客のニーズに応える技術力を有し、細部に至るまでオーダーメイドで製品を造る、顧客満足を第一に考え取り組む企業グループです。そんなグループの中で、大昭和ファースト株式会社は、カラーティッシュや高品質な家庭紙「ファーストブランド」などを製造販売しています。

一CNFに取り組んだきっかけは？

きっかけは、平成27年1月に企業局が富士市のロゼシアターで開催した「CNF産業振興セミナー」です。このセミナーに参加した大昭和紙工産業株式の社長が新素材であるCNFに興味を持ち、紙を扱う企業として取り組むべきテーマと決断しました。その後、企業局の開催する「サンプル企業展示会」や県のセミナーなどに参加し情報収集から始めました。

CNFの製造については大手製紙会社が先行していたため、最初は、当社商品への展開が活かせる紙への添加などの用途開発研究に着手しました。しかし、添加剤として購入するCNFの価格が高く、採算性のある用途開発がなかなか進まないところに、大昭和ファースト株式会社から、廃棄物であるペーパースラッジ（PS）を何かに使えないかと相談がありました。

PSは、紙を抄く際に排水中に流失した短繊維や無機物を濃縮し脱水した物で、セルローズが既にある程度細かくなっています。すなわち、CNF製造の機械処理第一段階が済んでいる状態であるので、製造コストにメリットがあると考え、PSからのCNF製造の研究を開始しました。

一PSの再利用には色々課題がありませんでしたか？



色とりどりのCNFサンプル

これまででも、産業廃棄物であるPSを有効利用しようとする取組が何十年も前から続けられてきました。その際に課題となるのが、PS品質のばらつきと、再利用の際には不純物となる紙への添加薬剤の分離でした。

大昭和ファースト株式会社では、ティッシュペーパーなど人体に直接触れる商品を製造していますので、安心・安全の観点から、原料は100%バージンパルプ、種類も限定し、古紙は一切使っていません。そのため、PSの品質が安定しています。また、バッチ式で製造しているため、ロットごとに品質が一定に保たれます。そして、通常は、内填する薬剤を、乾燥させる工程で噴霧し外填することで、薬剤量を減らしています。

このPSなら安定してCNFを作ることができると考えました。PS品質が問題であるなら、問題の無いPSから作れば良い。まさにコロンブスの卵の発想です。また、当社の特長であるカラーティッシュ製造の際に発生するPSなので、今までにない着色したCNFを製造することが可能です。

企業局が県庁東館2階で行っていたCNF関連展示には、当社のサンプルも展示していただきました。その結果、大きな反響があり、複数の引合いもいただいています。

一最後にひとことお願いします

当社のCNF製造は原料がPSですので、廃棄物の有効利用ということだけでなく、通常のパルプから製造する方法に比べ、細かくするためのエネルギーが少なく済むという利点があります。環境負荷低減の観点から、非常に優れた製造法です。

まずは、このCNFをグループ内で製品に使えないか用途開発研究に取り組みます。将来的にはサンプル提供体制を整え、CNF材料として販売していきます。そのためにも輸送コストを低減するため、高濃度化や粉体化（現状は1%水分散体）にも取り組み、CNFの早期事業化を目指していきます。



世界一高価と認定されたカラーティッシュ



右から大昭和ファーストの上園社長、鎌田工場長、大昭和紙工産業の齋藤さん、青柳さん

平成 30 年度 企業局水道技術研修

良質な工業用水・水道水の安定供給を維持するため、企業局の経営・技術の中核を担う人材を長期的視点に立って育成するとともに、技術の継承を行っていく必要があります。

企業局では個々の職員の専門分野・技術力に応じた研修を体系化した「企業局技術職員研修計画」に従い様々な研修を行っています。

7月はこの一環として、本年度企業局への新規配属職員を対象に、水道技術の基礎知識の習得を目的とした「水道技術研修」を開催しました。

水道施設等の基礎知識の講義、弁の操作で発生する水流の変化実験、事故事例の解説、弁類の操作実習、漏水の復旧実習、配管接合実習を行いました。



漏水補修金具を用いた漏水修繕実習



水道管接合実習

平成 30 年度第 1 回

静岡県企業局経営評価委員会 を開催しました

平成 30 年 7 月 26 日に「平成 30 年度第 1 回静岡県企業局経営評価委員会」を開催しました。会議では、平成 29 年度の決算見込みや水道施設の耐震対策、第 3 期中期経営計画の評価等を報告したほか、入札結果の検証方法の見直しについて協議を行いました。

委員からは、耐震化の進捗率や更新の優先順位に関する御質問や、入札結果の検証方法の見直しについて、御意見をいただきました。

また、会議に合わせて、藤枝高田工業団地と森中川下工業用地及び寺谷浄水場の視察を行いました。

今回いただいた御意見を活かし、より一層の健全経営に努めてまいります。



【主な意見】

- ・ 入札結果の検証方法を、企業局職員のコンプライアンスの遵守強化に重点を置く方向に見直すことは賛成である。
- ・ 不祥事案の再発防止対策として、全職員を対象に個別面談を年 2 回実施しているのは大変重要なので徹底してほしい。

水道事業の業務状況(平成30年7月25日現在)

7月の使用水量は、前年度同期比で、榛南水道は100.8%と増加しましたが、駿豆水道は89.9%、遠州水道は97.9%と減少し、全体では96.8%となっています。(単位：千m³、%)

水道名	基本水量(日量)		基本水量 a		使用水量 b		使用率 b/a
			7月分	累計	7月分	累計	累計
駿豆	当該年度	100	3,000	12,200	975	3,880	31.8%
	前年度同期	100	3,000	12,200	1,085	4,312	35.3%
	前年度同期比	100.0	100.0%	100.0%	89.9%	90.0%	
榛南	当該年度	27	810	3,294	486	1,918	58.2%
	前年度同期	27	810	3,294	482	1,889	57.4%
	前年度同期比	100.0	100.0%	100.0%	100.8%	101.5%	
遠州	当該年度	292	8,763	35,636	4,942	19,713	55.3%
	前年度同期	292	8,763	35,636	5,048	20,343	57.1%
	前年度同期比	100.0	100.0%	100.0%	97.9%	96.9%	
合計	当該年度	419	12,573	51,130	6,403	25,511	49.9%
	前年度同期	419	12,573	51,130	6,615	26,544	51.9%
	前年度同期比	100.0	100.0%	100.0%	96.8%	96.1%	

工業用水道事業の業務状況(平成30年7月25日現在)

7月の使用水量は、前年度同期比で、静清工水は103.4%、中遠工水は104.6%、湖西工水は100.3%と増加しましたが、柿田川工水は97.8%、富士川工水は69.1%、東駿河湾工水は94.8%、西遠工水は97.1%と減少し、全体では93.1%となっています。(単位：千m³、%)

工水名	基本水量(日量)		基本水量 a		使用水量 b		使用率 b/a
			7月分	累計	7月分	累計	累計
柿田川	当該年度	100	3,000	12,200	2,926	11,825	96.9%
	前年度同期	100	3,000	12,200	2,992	12,002	98.4%
	前年度同期比	100.0	100.0	100.0	97.8	98.5	
富士川	当該年度	104	3,127	12,717	1,461	8,654	68.0%
	前年度同期	108	3,246	12,888	2,115	9,624	74.7%
	前年度同期比	96.3	96.3	98.7	69.1	89.9	
東駿河湾	当該年度	372	11,140	45,725	7,684	31,803	69.6%
	前年度同期	404	12,132	49,196	8,106	33,164	67.4%
	前年度同期比	91.8	91.8	92.9	94.8	95.9	
静清	当該年度	52	1,569	6,286	1,262	4,738	75.4%
	前年度同期	52	1,565	6,270	1,221	4,374	69.8%
	前年度同期比	100.3	100.3	100.2	103.4	108.3	
中遠	当該年度	43	1,289	5,250	538	2,076	39.5%
	前年度同期	44	1,297	5,248	514	1,917	36.5%
	前年度同期比	98.1	99.3	100.1	104.6	108.3	
西遠	当該年度	41	1,230	4,966	720	2,840	57.2%
	前年度同期	42	1,247	5,013	742	2,766	55.2%
	前年度同期比	98.7	98.7	99.1	97.1	102.7	
湖西	当該年度	17	510	2,040	324	1,198	58.7%
	前年度同期	17	510	2,040	323	1,192	58.4%
	前年度同期比	100.0	100.0	100.0	100.3	100.6	
合計	当該年度	729	21,865	89,184	14,915	63,134	70.8%
	前年度同期	767	22,997	92,855	16,013	65,039	70.0%
	前年度同期比	95.0	95.1	96.0	93.1	97.1	

* 基本水量：給水を受けようとする市町や使用者が申請し、企業局が決定した予定水量

* 使用水量：企業局が市町や使用者に供給した水量